

本人支援のための具体的支援内容 ステップくん

項目	ねらい (ガイドライン項目)	支援内容	ガイドライン 支援内容項目
健康・生活	健康状態の把握と健康管理 (健康・生活 a-(a))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一年に一度アセスメントを行い、利用者の通院状況や健康状態等の把握を行う。</li> <li>・意思表示が困難な利用者は、やりとりノートなどで家庭での生活リズム、食欲の様子などを把握する。また、受け入れ時には検温を実施。</li> <li>・利用者の発達の過程や障害の特性等に配慮し、小さなサインから心身の異変に気づけるよう、きめ細かな観察を行う。</li> </ul>	健康・生活 b-(a)
	生活リズムや生活習慣の形成 (健康・生活 a-(b))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「食べる」「寝る」生活リズムを保護者と一緒に整え、維持していく。</li> <li>・家庭でのテレビやゲームとの付き合い方を、保護者と共に考えていく。</li> <li>・希望により、恵の実保育園から手作りのおやつを購入し提供する。咀嚼や嚥下、姿勢保持に支援が必要な利用者には、楽しく安全に食事ができるよう配慮する。おやつを通して、いろんな食材を食べる経験をし、また道具を試行錯誤して使う力を育て、おやつの準備や片付けを仲間と協力して行う力を育てる。時には、おやつや食事を仲間と一緒に作る活動を行う。</li> </ul>	健康・生活 b-(b)
	日常生活の基本動作を身につける (健康・生活 a-(c))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・通所後の支度、着替え、準備・片付けなど、身の回りのことを自分でやろうとする意欲や意識を育てる。子どもの発達状況に応じて支えを入れながら、試行錯誤する力を身につけ、自分のことが自分でできる喜びを感じていく。</li> <li>・夏休みなどの学校休業日は、朝から受け入れをすることで、楽しみになる活動やみんなのために働く活動を取り入れ、一日の見通しを持ちながら生活力を身につける機会とする。</li> <li>・時間（見通し）や空間（場所）などを本人に分かりやすいよう工夫し、自分で考えながらできることを増やしていく。</li> </ul>	健康・生活 b-(c) (d) (e)
運動・感覚	身体を育てる（身体運動の向上と体力維持） (運動・感覚 a-(a))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・近くにある赤塚山公園への散歩や山登り等にでかけ、斜面や階段をたくさん歩き、身体の移動能力の向上や体力維持を目指す。</li> <li>・リズムあそび、散歩、アスレチック遊び、戸外遊びなどを通して、しなやかな強い身体と、様々な状況に応じて身体を使いこなせる力を育てる。（危険に対する身のこなし方を身体と感覚で学ぶ）</li> </ul>	運動・感覚 b-(a) (c)
	姿勢保持と運動・動	<ul style="list-style-type: none"> <li>・姿勢の保持や各種の運動・動作が困難な場合、姿</li> </ul>	運動・感覚

	<p>作の補助的手段の活用 (運動・感覚 a-(b))</p>	<p>勢保持装置や歩行器などの補助的手段を活用してこれらができるよう支援する</p>	<p>b-(b)</p>
	<p>感覚への働きかけ及び感覚統合 (運動・感覚 a-(c))</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・水や土、泥遊びを行い、感覚を楽しむとともに、変化する素材に働きかけ夢中になって遊ぶ。感覚が過敏な利用者には、その子が受け入れられる感覚から少しずつ受け入れられる感覚を広げていけるよう支援する。</li> <li>・感覚統合遊びとして、トランポリン、リズムあそび、アスレチック遊びなどを行う。</li> <li>・マッサージや足湯、じゃれつき遊びなど、スキンシップを通して「心地いい」感覚を育てていく。</li> <li>・必要に応じて、メガネ等の各種の補助機器等を活用できるように支援する。</li> </ul>	<p>運動・感覚 b-(d)(e)(f)</p>
<p>認知・行動</p>	<p>五感を十分に活用して認知機能の発達や概念形成を促す支援 (認知・行動 a-(a))</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分自身で経験し、実感を伴って言葉や概念を学んでいく支援を行う。</li> <li>・散歩にでかけ、道草散歩を楽しむ。また、自然の中での季節に合わせた体験活動（山登り、川遊び、海遊び、畑活動、ニワトリの飼育など）を行う。五感をつかって植物や生き物に触れ、実感を通しているような違いに気づき、感動し、その子の持てる力で表現することで概念形成や認知機能の発達を促す。その子の年齢や認識に応じて、感じたことを言葉で表現し、作文活動につなげる。</li> <li>・絵本の読み聞かせを行う。自分の経験と重ね合わせながら、好奇心を刺激し、感性を高めるとともに、想像力や語彙力を高める。</li> </ul>	<p>認知・行動 b-(a)(c)(d)</p>
	<p>遊びを通して認知機能を高めていく支援 (認知・行動 a-(a)(b))</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の発達段階に応じて遊びを展開させ、認知機能の向上を促す支援を行う。</li> <li>・身体や感覚を使って思考錯誤し、考える力を育てていく。</li> <li>・土や水などの変化する素材を使い、手指を使って思考錯誤する力、ままごとやごっこ遊びを通してイメージする力、イメージを他者と共有していく力を育てていく。</li> <li>・集団遊びを行い、ルールを共有しながら、相手の行動を予測し、相手と駆け引きし、仲間と協力したり作戦を立てるなど、考える力を育てる。</li> </ul>	<p>認知・行動 b-(a)(c)(d)</p>
	<p>創る(作る)活動を通して表現する喜びや認知機能の向上、達成感を得る</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人一人の趣向や発達段階に応じた創作活動を行い、手指や道具の操作性を高め、見通す力、工夫する力、粘り強さを育て、達成感を感じられる支援を行う。</li> </ul>	<p>認知・行動 b-(a)(c)(d)</p>

	(認知・行動 a-(a)(b))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・制作活動(色や形を意識する)。一人一人の力に合わせた素材や道具を使って制作活動を行う。素材に働きかけたり、表現することを通して気持ちのやりとりを楽しむ。完成を大人や仲間と喜び合い、完成したものは飾ったり、誰かの役に立てたりしながら、自分への手応えにつなげていく。</li> <li>・積み木や土山での穴掘りなど、構造的な遊びを通して立体を認識していく。</li> <li>・クッキング(数量を意識する)。数や量、工程を意識させながら、完成を楽しみに、見通しをもって行う力を育てる。必要な材料を買い出しに行く経験を通して、お金の価値や計算を学ぶ。</li> </ul>	
	知覚から行動への認知過程の発達 (認知・行動 a-(a))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・「～したい」というよき見通しがある生活の中で、そのためにやるべきことを自分で考え、行動しけるよう支援する。</li> <li>・遊びや活動に必要な準備、片付け等を、仲間と一緒に自分たちで行う生活を目指す。</li> </ul>	認知・行動 b-(b))
	認知の偏りへの対応及び行動障害への予防・対応 (認知・行動 a-(c))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・遊びを通して、利用者に合わせたスモールステップでいろんな感覚を体験し、外界に働きかける意欲と、受け入れられる世界を広げていく。大好きな人、大好きな遊びを増やしていく中で、本人が良き見通しをもって、自分で生活や活動を組み立てていくことができるよう支援する。</li> <li>・本人の物事の理解の仕方や発達段階に応じて、情報の理解の手助けをし、また、自分の気持ちをきちんと相手に伝える手助けをしながら、スモールステップで折り合いをつける力を育てていく。</li> </ul>	認知・行動 b-(e)(f))
言語・コミュニケーション	コミュニケーションの基礎的能力の向上 (言語・コミュニケーション a-(c))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・本人の気持ちに寄り添い受け止めることを土台にして、相手に「伝えたい」気持ちを育てていく。言葉にならない思いも含め、本人が伝えようとしているサインや行動などを受け止め、その背景にある思いを理解し、気持ちのやりとりを支援する。</li> <li>・その子なりの言葉ではないコミュニケーション手段を周りの大人や仲間が理解して気持ちのやりとりができるよう、周囲への働きかけを行う。</li> </ul>	言語・コミュニケーション b-(c)(d))
	言語の形成及び受容言語と表出言語の支援 (言語・コミュニケーション a-(a)(b)(d))	<ul style="list-style-type: none"> <li>・様々な実体験を通して、言葉の意味や使い方を学んでいく(認知行動の支援内容に同じ)。相手の意図を理解したり、自分の考えを伝えたりするなど、言語を受容し表出する支援を行う。一人一人の特性に応じて、視覚支援等を取り入れ、理解のしやすさや意見の伝えやすさにつなげる。</li> </ul>	言語・コミュニケーション b-(a)(b)(e)(f)(g))
人間関係・社会性	信頼関係の形成 (人間関係・社会性)	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安心できる大人との信頼関係を築き、信頼関係を基盤として周囲の仲間との関係性を広げていく。</li> </ul>	人間関係・社会性

<p>a-(a))</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・仲間と関わり合いながら生活や遊び、活動を行えるよう支援し、仲間がいるからこそその喜びや楽しさを感じ、「仲間と一緒にうれしい」「人が大好き」という気持ちを育てていく。</li> </ul>	<p>b-(a)</p>
<p>遊びや活動を通して仲間と協力し合う力を育てる (人間関係・社会性 a-(c))</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・一人遊びの状態から、大人が仲間をつなげながらの並行遊びや協同遊びになるよう支援し、仲間を意識し社会性の発達へとつなげていく。</li> <li>・活動の準備や片付けなど、生活や活動に必要なことを仲間と協力し合いながら、自分たちで行っていくよう支援する。</li> <li>・どんなに発達がゆっくりであっても、仲間と相談し合いながら、一人一人の意見や思いを大事にし、自分たちの生活や遊びを自分たち決めて実行する機会を保障していく。</li> </ul>	<p>人間関係・社会性 b-(b)(c)(d)</p>
<p>いろんな仲間と関わり合い、いろんな自分を発揮していく (人間関係・社会性 a-(c))</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・恵の実っ子クラブとの交流活動を行い、本人の持てる力で活動に参加をしていく。仲間との活動を通して、仲間への意識や憧れを育て、仲間と関わり合う中でコミュニケーションの取り方を学んでいく。</li> <li>・他学年の仲間や保育園児さん等、いろんな立場の仲間との関わりを通して、いろんな自分を発揮していく。下級生に教える機会を通して、相手の立場に立って考える経験や、頼られることで感じる自分の価値などを感じ、自信につなげていく。</li> </ul>	<p>人間関係・社会性 b-(a)(f)</p>
<p>自己の理解と自己コントロールのための支援 (人間関係・社会性 a-(b))</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルールのある集団遊びやグループ活動、異学年との関わり合い等を通して、社会性や自治を学ぶ。</li> <li>・労働を通して、仲間と協力し合うこと、誰かのために役に立つ喜びを感じる。</li> <li>・思い通りにいかない出来事や、仲間との意見のぶつかり合いやケンカなどを通して、職員や仲間と考え合い、自分自身を振り返ることを大事にする。ひとつひとつの出来事を積み上げながら、物事を多面的に考えようとする力や価値観を学んでいく。</li> </ul>	<p>人間関係・社会性 b-(e)</p>
<p>体験活動の保障 (人間関係・社会性 a-(a)(b)(c))</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その年齢にふさわしい社会的な体験をし、また社会的マナーを学んでいけるよう、体験の機会を保障する。必要に応じて、環境の配慮や道具の工夫などを検討していく。</li> <li>・仲間との施設内合宿を行い、生活の自立の力につなげていく。</li> <li>・仲間と施設外活動を企てることを通して、物事の仕組みを知り、計画する面白さや難しさを感じ、仲間とやり遂げる達成感を感じる。</li> </ul>	<p>人間関係・社会性 b-(a)(d)(e)(f)</p>